

# 国語科学習指導案（国語総合）

日 時：令和2年2月12日(水) 4校時  
実施学級：県立古仁屋高等学校1年  
国語総合古典習熟クラス(19人)  
授業者：福壽 恵子

1 単元名 事実の虚構化の魅力を味わおう

2 教材名 『伊勢物語』「芥川」（教育出版『新編 国語総合』）

### 3 生徒の実態

国語総合古典における習熟クラスであり、授業者の質問や指示を理解するのが早く、意見交換をしながら考えをまとめたり答えを導き出したりすることができる。現時点では古典の基礎的な知識（重要語・文法等）の学習が不十分なため、必要な知識を提示しながら、問答形式で授業を行うことが多い。積極的に調べ学習をして、古典の世界に興味をもち、古典を読むことに楽しみを感じる姿勢の習得を期待している。

### 4 単元設定の理由

本教材は、平安時代前期の歌物語である。主人公「男」のモデルが実在する人物であることから、現実的な出来事として物語を受け入れられると同時に、登場人物の心情を理解しやすい作品である。また、助動詞や和歌、敬語表現の基本的学習としても有効であり、読解した上で、物語の特徴について理解する活動は、今後の古典学習の基本姿勢になると考える。さらに、本文の内容を整理し相違点に着目したり、根拠に沿った自分の感想をまとめたりする力の育成は、国語以外の教科にも役立つものと考えられる。

5 取り上げる言語活動 感想まとめと発表

### 6 単元の目標

- (1) 物語の展開に留意して、登場人物の人物像や心情を把握しようとする。（関心・意欲・態度）
- (2) 物語の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりする。（読む能力）
- (3) 重要語や文法事項、和歌の果たす役割や敬語表現について理解を深める。（知識・理解）

### 7 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
物語の展開に留意して、登場人物の人物像や心情を把握しようとしている。	物語の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりしている。	重要語や文法事項、和歌の果たす役割や敬語表現について理解を深めている。

## 8 指導と評価の計画（全6時間）

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
1 5 3	・全文を音読し、現代語訳をする。	・重要語を辞書でひいて現代語訳の際に必要な知識を増やし、既習内容を確認しながら、訳す活動に慣れさせる。 ・現代語訳をスムーズに行うために、重要箇所を空欄にした現代語訳プリントを提示する。	読む能力 知識・理解 〔行動の観察〕
4	・「男」の心情や、「女」の人物像について理解する。	・和歌や本文の表現を根拠にして、心情や人物像について予想させる。	関心・意欲・態度 知識・理解 〔行動の観察〕
5	・敬語表現について理解する。	・敬語表現に留意して現代語訳を確認させ、用法について相互に説明させる。	知識・理解 〔行動の観察〕
6 本 時	・虚構化による物語の魅力について感想をもつ。	・資料を参考にしながら、平安時代の習慣等について予備知識を与える。 ・事実の虚構化について確認し、自分の感想を相互に発表させる。	読む能力 知識・理解 〔行動の観察〕 〔記述の点検〕

## 9 本時の実際

### (1) 本時における評価規準

物語の展開の特徴を確かめ、事実の虚構化によって生まれる魅力について、自分の感想をもち発表することができる。(読む能力)

### (2) 本時の観点別評価について

#### 評価活動（読む能力）

学習活動における 具体の評価規準	物語の展開の特徴を確かめ、事実の虚構化によって生まれる魅力について、自分の感想をもち発表することができる。(読む能力)
A「十分満足できる状況」と評価した具体的状況例	・古典基礎知識をもとに、物語の展開の特徴や魅力について自分の感想を簡潔に発表することができる。
C「努力を要する」と評価した生徒への手立て	・現代語訳を確認させ、物語の内容の整理をさせる。

(3) 本時の指導過程

過程	学習活動	指導上の留意点	評価方法
導入 7分	1 本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事実の虚構化の魅力を味わおう</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の大筋と展開の特徴の確認をする。</li> <li>・「虚構化」の例を示し、意味や効果の確認をする。</li> <li>・「事実」と「虚構化」した内容を整理することを伝える。</li> <li>・「虚構化」によって生じる効果について自分の感想を発表することを伝える。</li> <li>・評価表を配布し、本時の評価内容を確認する。</li> </ul>	
展開① 5分	2 古典知識を資料で確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント配布</li> <li>・いくつかの例を挙げ、当時の習慣などについて確認する。</li> </ul>	行動の観察
② 15分	3 物語に描かれた「事実」と、それに対応する「虚構化」している箇所を整理する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「前半『虚構化された物語』、後半『事実』という物語の展開と、『男』は『在原業平』、『女』は『(のちの) 二条の後』という設定を意識させる。</li> <li>・プリント配布</li> <li>・『事実』と『虚構』を整理比較して、『虚構化』による効果を確認する」という活動の例を挙げる。</li> <li>・「事実」と「虚構」を整理させる。</li> </ul>	行動の観察 記述の点検
③ 5分	4 「虚構化」の効果について、効果や自分の感想をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果や感想などいろいろな視点から記述してよいことを確認する。</li> <li>※ 3, 4の活動には、生徒の取り組み次第で、適宜ペアやグループ活動を取り入れる。</li> </ul>	行動の観察 記述の点検
④ 5分	5 グループ内で発表し合い、意見を共有する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分以外の意見についても記録させる。</li> </ul>	行動の観察 記述の点検
⑤ 5分	6 発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつか違う内容のものを発表させる。</li> </ul>	行動の観察
まとめ 3分	7 本時の活動を自己評価し、振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ループリック評価と振り返りの記入をさせる。</li> </ul>	行動の観察 記述の点検